

# ミツバチの一枚画コンクールが 子供たちの学びや SDGsの実践につながります

ミツバチが教えてくれる大切なことを紹介します。また、応募作品1点につき1本の木を植えます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## ミツバチが教えてくれる大切なこと

### ミツバチと自然環境の関わり



ミツバチは花から蜜をもらうお返しに、花粉を運んで受粉させ、植物が育つ手助けをしています。地球上からハチがいなくなると、スーパーに並ぶ約7割の野菜や果物が消えてしまうといわれているくらい、ミツバチは植物と支えあって、お互いの命をつないでいるのです。

### ミツバチは家族で 支え合っている



ひとつの巣箱には女王バチ、働きバチ、オスバチがいて、それぞれがもつ大切な役目を一生懸命に果たしながら、助け合って「家族」で暮らしています。

### みんなは 一人のために



ミツバチは一匹一匹が様々な役割を担いながら共に生きている社会性の生物です。それは私たち人間も同じ。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の奉仕の気持ちをミツバチは教えてくれます。

### ミツバチからの 貴重な恵み、命の重み



一匹のミツバチが花畑を飛び回り、一生かかって集められるはちみつ量は、スプーン一杯分にもなりません。はちみつには、ミツバチ一匹の命の重さが詰まっています。

### ミツバチと 触れ合う 子供たちの様子



※過去のみつばち教室の様子

### もっとミツバチについて学ぼう!

「みつばち広場」へ  
<http://honey.3838.com>



## 作品の応募が森づくりにつながる

# 2018年以降の応募作品数から **114,785本** もの植樹を行ってきました!

「ミツバチの一枚画コンクール」では、**応募作品1点につき1本の植樹**を行っており、昨年は第10回の応募作品と同数の19,633本を植樹しました。過去に植樹した場所では森が蘇っています。

養蜂業を原点とする山田養蜂場は、「自然との調和」を理念に掲げており、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、1999年より国内外で植樹活動を続けています。これまでの植樹総本数は約225万本になります。



植樹地：ネパールの様子

### 植樹がCO<sub>2</sub>削減につながる?

植物には、CO<sub>2</sub>を吸収する働きがあります。その働きは、植物の種類や大きさなどによって異なりますが、例えば幹の太さ15cmのアラカシであれば、1本あたり1年間で約12kgのCO<sub>2</sub>を吸収します。

当コンクールで植樹した114,785本に換算すると、**約137万kgのCO<sub>2</sub>削減**に繋がることになります。これは、体積にすると、25mプール(長さ25m×幅16m×高さ1.5mの場合)約1,160個分にもなります。



### 応募作品について

- 作品サイズは四つ切画用紙(380mm×540mm)またはA3サイズ(297mm×420mm)の用紙。  
※若干のサイズ違いは可。額入りは不可。油彩はキャンバスではなく紙ボードなどを推奨。(厚さ10mm以内)
- スケッチ、イラスト、貼り絵など表現方法および水彩、クレヨン、油彩など画材は自由です。
- 生成系AIを使用した作品は不可とします。
- 応募作品貼付票に必要事項を記入して、作品の裏・右下に作品の天地がわかるようにしっかりと貼り付けてください。(1作品につき1枚)
- 別途、応募申込書を作品に同封の上、事務局までお送りください。

※団体で応募する際は、① 園・学校・画塾などの所在地、② 応募担当者(とりまとめて下さる方)のお名前、③ 応募者リストを記入した、団体応募申込書を必ず同封してご応募ください。  
※園・学校・画塾など先生(担当者の方)がとりまとめて応募いただく場合は、1名から団体応募となります。

### 団体奨励賞について

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

応募者全員に **参加賞** を差し上げます



コンクールウェブサイトからも詳細をご覧ください。  
応募用紙のダウンロードもできます。

URL <https://www.3838.com/ichimaiga>

🔍 一枚画コンクール 検索



ぜひ表面もチェックしてください!